

2020年10月16日
東海旅客鉄道株式会社

東海道新幹線鳥飼車両基地における井戸水活用について

当社では東海道新幹線鳥飼車両基地において、災害時に上水道が断水した場合においても新幹線のメンテナンスを行い、運行を確保できる様に井戸水を活用しています。なお、井戸水の汲上げに際しては、地下水位の状況をモニタリングし、地盤沈下のおそれがないことを確認しています。

また、自然災害により周辺地域への給水が停止した際には、本井戸を近隣の皆様にご利用頂くことも考えています。

月別汲上水量 (m³)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2019	汲上水量	21,362	18,634	18,110	14,189	18,401	16,292	16,910	15,904	15,299	12,249	22,344	22,572	212,265
2020	汲上水量	22,825	21,074	22,752	22,169	21,052	20,574	21,120	20,948	19,383				191,896

日別汲上状況 (m³)

	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	合計	1日平均
4月		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																			22,169	738.9
5月																																21,052	679
6月																																20,574	685.8
7月																																21,120	681.2
8月																																20,948	675.7
9月																																19,383	646

- ・本井戸では、汲上げ水量が一定量 (745 m³) に達すると自動で取水を停止するシステムを採用しており、それを超える水の利用については、水道水を利用しています。
- ・○の付いた日付は745 m³を汲み上げた日となり、それ以外の日は745 m³未満の汲み上げ水量となります。
- ・汲上水量は、日々の新幹線車両整備のボリュームに応じて変わります。

以上